

● 神山表具 創業80年 伝統の表装技術を守る老舗表具店



神山表具は、大田区西六郷で80年にわたり、内装・表具店を営んでいる。

「表装」とは、書画や絵画の保存と鑑賞のために、布や紙等で縁どりや裏打ちを施すことで、額・掛軸・屏風等の「表具」に仕立てる日本伝統の技術のことを指す。つまり、書画や絵画は、ふさわしい「表装」技術と合わせはじめて、芸術的価値をもつ額・掛軸・屏風等の「表具」へと生まれ変わる。

同社の「表具」を取り扱う技術は秀逸であり、長年の実務経験をもとに取得することができる「表装技能士」等の国家資格をもつ職人が、技術と経験を生かし、「表具」を美しく仕立て直し、復活させている。

同社の卓越した技術は高い評価を受けている。渋谷栄一の邸宅内にある「青淵文庫」や駅として初めて国の重要文化財に指定された「門司港駅舎」の補修工事や、世界遺産の一つである

「旧グラバー住宅」の修復作業等に関わった実績をもつほどであり、日本固有の伝統技術の保存・継承の一翼を担っていると言っても過言ではない。

東京表具経師内装文化協会の会長を務める高橋代表は「ありがたいことに当社は国の重要文化財の補修などに携わらせていただいている。作られた当時の技術には、今でも目を見張るものがあるが、残念ながら、こういった表装技術の担い手が減ってきているのも事実である。日本家屋の内装を機能的にも視覚的にも彩ってきた伝統的な表装という技術に、新しい素材を取り入れるなど、伝統を守りながらも進化させていきたい」と語る。

企業情報

- 📍 神山表具
- 📍 東京都大田区西六郷
- 👤 高橋晃一代表取締役
- ☎ 03-3731-1375



<https://www.kamiyama-hyougu.com>